

# 日本に学ぶ！ 道路インフラ維持管理の最前線 in 岐阜大学

国際協力機構(JICA)は、8か国11名の道路維持管理の経験を有する行政官に対し、「道路アセットマネジメント」をテーマに約1か月間の研修を実施します。

今回の研修では、2月14日(金)に岐阜大学を訪れ、日本で初めて大学構内に設置されたインフラミュージアムの視察や、タブレットによる橋梁点検等、効率的なインフラ維持管理にかかる最新技術の体験を行います。また、大学が自治体、民間企業と連携し、岐阜県内で独自に認定を行う技術者育成プログラム「社会基盤メンテナンスエキスパート養成制度(ME制度)」についての講義も予定されています。

日本においても、人口減少が加速する中、高度成長期に各地で整備された道路や橋の維持管理は喫緊の課題です。社会基盤を維持管理する人材育成に取り組む岐阜大学での研修を通じて、研修参加者は何を自国に持ち帰るのでしょうか。

ぜひこの機会に取材をご検討ください。

本プログラムの取材を希望される場合は、**2月11日(火)までに**問い合わせ先までご連絡をお願いします。

## 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京センター 経済基盤開発・環境課 杭田佳奈江  
TEL 050-1800-2487 e-mail: [Kuita.Kanae@jica.go.jp](mailto:Kuita.Kanae@jica.go.jp)  
(電話受付時間：午前9時30分～午後5時45分)

一般社団法人 国際建設技術協会 社会基盤調査部 佐藤加斐  
TEL 03-5227-4101 e-mail: [satok202@idi.or.jp](mailto:satok202@idi.or.jp)  
(電話受付時間：午前9時30分～午後5時45分)

## &lt;研修概要&gt;

1. 研修名：課題別研修 道路アセットマネジメント
2. 研修期間：2025年1月30日（木）～2月28日（金）
3. 研修目標：本国内における道路アセットマネジメント定着に向けた取組状況・研究開発状況の理解や点検データを活用した予算計画策定・健全度推移予測手法の理解・習得を通じて、自国の道路アセットマネジメントの定着に向けて必要な対応策や改善策が策定される。
4. 研修場所：下表の通り。
5. 研修参加国及び対象機関：エジプト、エルサルバドル、エチオピア、インドネシア、ラオス、フィリピン、東ティモール、ザンビア  
上記8か国の道路アセット（橋梁、舗装等）の整備・維持管理を管轄する政府機関
6. 取材対象講義：

日付	時間	プログラム	場所
2月14日 (金)	10:00～12:00	講義：橋梁点検・診断技術概説	岐阜大学 柳戸会館
	13:00～14:00	講義：ME 制度及びインフラミュージアムの紹介	
	14:20～15:40	視察：インフラミュージアムの説明 (各モデル 20分×4つ)	岐阜大学 駐車場C インフラミュージアム
	15:40～16:30	実習：タブレットによる橋梁点検のデモンストレーション、加速度計 (Weigh-In-Motion) による大学構内橋梁の計測実施、その活用方法の説明	

※プログラム内容・時間等が変更になる場合があります。